

令和7年2月4日

うるま市長 中村 正人 様

美咲特別支援学校 保護者・関係者 有志の会

澤岬 聖司 (高等部3年生保護者)

嘉島 美香代 (中等部2年生保護者)

福祉避難所への直接避難等に関する要望書

日頃よりうるま市民の為に尽力いただき、有難うございます。

私たちは、発達障害のある人たちが災害時のたびに、通常の避難所で生活に支障をきたし、車中泊や不安の残る自宅避難を続けるといった状況に、とても不安を覚える市民です。うるま市民として不安が少しでも早く解消、緩和される様に要望書の提出をさせていただきます。

要望趣旨

発達障害のある人たちが通常の避難所になじめないことは、ニュースなどで聞くまでもなく私たちにとっては当たり前に思うことです。それどころか、避難所へ連れていくことすら困難であることも、日々の生活で明らかです。東日本大震災、熊本地震、そして今年1月の能登半島地震でも、要配慮者（高齢者、障がい者など）への対応について、課題が浮き彫りになりました。

現在、うるま市はそういった避難所生活や移動のために困難が予想される被災者にも、まずは通常の避難所、その後福祉避難所に移動して貰うという一律の対応をされることになっているかと思えます。

このような状況の中、私たち保護者は、大規模災害時に開設される一般の避難所に発達障害を持つ子どもと共に避難することに対して、多くの懸念と不安を抱いております。発達障害のある子どもたちは、健常者には理解しづらい行動が多く見られます。避難生活となると、いつもと違う環境に強い不安を感じ、自傷行為や不適切な行動が増える可能性が高くなります。

そのため、周りの方々に迷惑をかけることを懸念し、避難所への避難をためらう保護者は多いと思います。また、子ども自身も慣れない場所や施設への避難所には、理解できず拒否することや、多くの人がいる環境が苦手な中に入れられない可能性があります。

一方、国の福祉避難所ガイドライン改定により、多くの県外自治体が発達障害を持った人でも利用しやすい「福祉避難所への直接避難」を進めていることがわかりましたので、以下要望します。

要望事項

- 1 うるま市において知的障害児（者）も直接避難出来る公共の福祉避難所の設置を早期検討してください。
- 2 福祉避難所への直接避難が出来ない場合においても、発達障害がある者及びそのご家族が安心した避難生活がおくれるような仕組みづくりを早急に検討してください。
- 3 また、うるま市内に現在ある特別支援学校及び今後建設予定の特別支援学校も含めて福祉避難所への指定に向けて沖縄県との協議・連携を進めていただくことを強く要望します。

署名活動の結果

本要望書に対して、うるま市民の皆様から多大なるご賛同をいただきました。署名活動を通じて、沖縄県内全体で4,916筆の署名が集まり、そのうちうるま市民からは1,360筆の署名がありました。

この結果は、うるま市民が本要望に対して強い関心と支持を持っていることを示しています。

以上